

登録コード	E2367900	開講年度	2026				
授業科目	地学演習				担当教員	竹下 欣宏	
英文授業名	Exercises in Earth Science				副担当		
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・6時限	対象学生	3年生
講義室	教育W503講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				地質学の専門知識について、適切に情報を読み解き、的確な情報を発信することができるようになる（情報化社会において何が正しく、何が間違っているのかを自分で判断することができるようになる）。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				地質学的な研究を行うための地質学の専門分野の基礎知識を修得し、自身で研究のテーマや研究手法を自覚し、創造的な研究を行うための基礎を築くとともに、地質学的研究を行う上で必要な専門知識・技能を備え、それらを応用できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	研究を進めることができるようになるよう地質学の専門的知識を演習によってカバーする。地質学に関する専門的な教科書や学会誌の論文演習を通して専門科目の理解を深める。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：層序学原理の発展とその応用 第3回：堆積粒子と堆積岩の分類（砕屑岩 礫岩） 第4回：堆積粒子と堆積岩の分類（砕屑岩 砂岩） 第5回：堆積粒子と堆積岩の分類（砕屑岩 泥岩） 第6回：堆積粒子と堆積岩の分類（生物岩） 第7回：堆積粒子と堆積岩の分類（化学的沈殿岩） 第8回：層理と堆積構造の記載的分類（表面構造） 第9回：層理と堆積構造の記載的分類（縦断面に現れる層理と葉理） 第10回：層理と堆積構造の記載的分類（生物擾乱と浸食と風化による構造） 第11回：堆積過程の物理作用 第12回：水流に対する砂床の反応 第13回：風および潮汐と波浪による運搬と堆積 第14回：土砂流による運搬と堆積（授業アンケート（15分程度）含む）						
(6)成績評価の方法	論文や参考書の内容理解度、まとめ方とプレゼンテーション（80％）、取り組み方（20％）により、地質学的研究を行う上で必要な専門知識・技能が身に付き応用できるようになったかを測り、それらの総合点で成績評価を行う。6割以上を合格とする。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀、89-80％ 優、79-70％ 良、69-60％ 可、59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	1. 演習の内容を理解できており、2. レポートの項目を適切に設定しており、3. 演習内容を自分の言葉で説明できており、4. 演習内容に関する課題を把握できており、5. その上で自分の見解を提示できていれば「卓越している」。1. から5. の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	演習内容に関して、教科書や副読書を参考に予習すること。毎回の授業後に演習の内容と考察をレポートとしてまとめること。この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	卒業研究を地学とする予定の学生は必ず履修すること。日頃から地質事象に興味を持って新聞やテレビのニュースを聞くこと。論文や参考書を必ず予習して参加すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室：W407、日時：随時（ただし事前連絡があると良い）、連絡先 内線：4121 メール：takey@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし。						
【参考文献】	層序学と堆積学の基礎 ウィリアム フリッツ・ジョニー ムーア著（原田憲一 訳）愛智出版（5,460円）						